

# KVK 浴槽用定量単水栓 K1900 〈各仕様共通〉 施工説明書

**施工業者様へ** 施工前にこの施工説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。  
この施工説明書と取扱説明書は必ずご使用になるお客様にお渡しください。

## 安全上のご注意

- ここに示した **警告** は誤った取扱いをすると、死亡または重傷に結び付く可能性があります。
- ここに示した **注意** は誤った取扱いをすると、傷害または物的損害に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

この絵表示は、してはならない「禁止」の内容です この絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です

<b>警告</b>	<p>給湯温度は85℃より高温で使用しないでください。</p> <p><b>禁止</b></p> <p>85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>加工および接合等の改造はしないでください。</p> <p><b>禁止</b></p> <p>器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>給湯に蒸気を使用しないでください。</p> <p><b>禁止</b></p> <p>器具が破損して、やけど、漏水のおそれがあります。</p>
	<p>配管などの解氷のため、解氷機を使用する場合は、水栓には絶対に通電しないでください。</p> <p><b>禁止</b></p> <p>通電すると水栓が発熱し、破損して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>スチームルームおよび乾燥室にご使用の際は相談ください。</p> <p><b>注意</b></p> <p>器具が破損して、やけど、漏水のおそれがあります。</p>	<p>ストレーナの清掃は止水弁または元栓で湯水を止めてから行ってください。</p> <p><b>注意</b></p> <p>高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>
	<p>他所の水栓の使用等により水圧変動が起こり、湯の使用中に湯温が上昇する場合があります。</p> <p><b>注意</b></p> <p>やけどのおそれがありますので、やけどのおそれがないところまで水圧変動をおさえた配管設備にしてください。</p>		

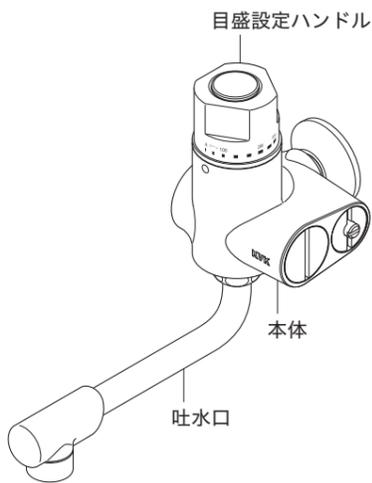
<b>注意</b>	<p>器具に強い力や衝撃を与えないでください。</p> <p><b>禁止</b></p> <p>器具が破損し、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>めっき部品はぶついたり落としたりしないでください。また、鋭利な物や硬い物を当てないでください。</p> <p><b>禁止</b></p> <p>めっきの表面が割れて、けがをするおそれがあります。</p>	<p>凍結が予想される際は、水栓本体や配管に布を巻くなどして凍結を防止してください。</p> <p><b>注意</b></p> <p>凍結予防をしないと凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>
-----------	--	--	---

## 取り付け前に

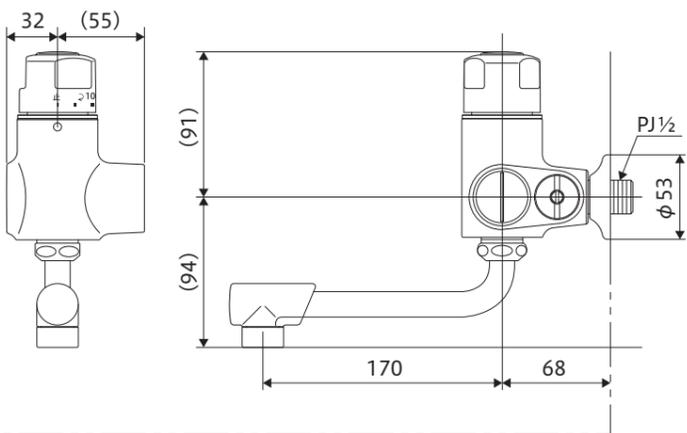
- ① 使用水圧 (A = (給湯器の最低作動水圧) + (配管圧力損失))
  - (1) 瞬間給湯器との組み合わせ  
〔比例制御式〕 最低必要水圧：A + 50.0kPa(動水圧)、最高水圧：0.75MPa(静水圧)
  - (2) 貯湯式給湯器との組み合わせ  
〔比例制御式〕 最低必要水圧：A + 50.0kPa(動水圧)、最高水圧：0.75MPa(静水圧)
- ② 給水圧力が0.3MPaから、0.75MPaまでは止水弁で流量調節してください。
- ③ 給水圧力が0.75MPaを超えるときは、市販の減圧弁で、0.2MPa程度に減圧してください。
- ④ 給湯器の給湯温度は、安全のため60℃以下の設定をおすすめします。
- ⑤ 給湯器からの配管は最短距離で配管し、配管には保温材を巻いてください。
- ⑥ 使用諸条件を加味して適正な能力の給湯器を選ばないと、適正な吐水量及び吐水温度が得られないことがあります。
- ⑦ 本製品は、改造(加工および接合等)によるトラブルについては、保証の限りではありません。
- ⑧ 通水検査をしていますので器具内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

## 取り付け完成図と各部の名称 / 寸法図 / 分解図 この分解図は製品説明図であり、サービス部品の単位を示すものではありません。

### 取り付け完成図と各部の名称

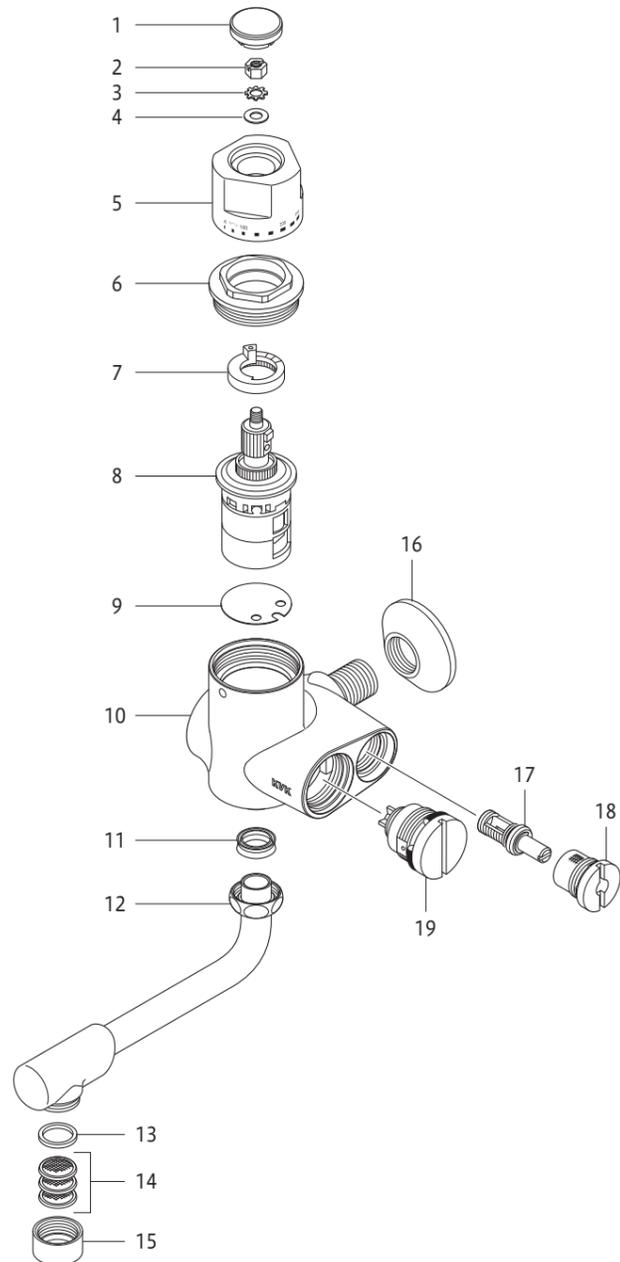


### 寸法図



### 分解図

1	キャップ
2	ナット
3	歯付座金
4	座金
5	目盛設定ハンドル
6	固定ナット
7	ストッパーガイド(同梱部品)
8	定量カートリッジ
9	パッキン
10	本体
11	Xパッキン
12	吐水口
13	パッキン
14	ストレーナ
15	整流器キャップ
16	送り座
17	止水弁
18	ストレーナ
19	止水弁ユニット



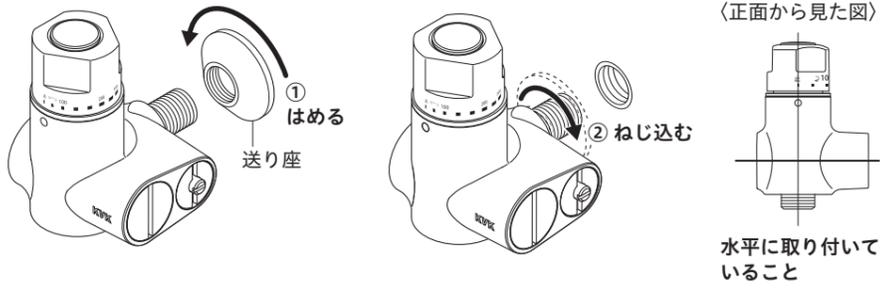
## 取り付け手順

### 1 給水管内の清掃

配管工事後、必ず給湯・給水管内のゴミを取り除いてください。

### 2 本体の取り付け

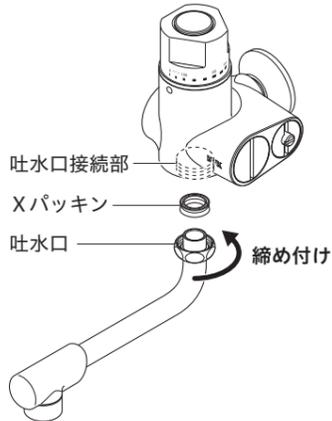
本体のねじ部に送り座をはめてからねじ部にシールテープを巻いて、配管にねじ込みます。この時、正面から見て本体が水平に取り付いていることを確認してください。



### 3 吐水口の取り付け

吐水口を吐水口接続部に接続します。締め付けは、二面幅に合わせてモンキーレンチ等で確実に行ってください。

【お願い】  
締め付ける際は傷が付かないようあて布等をしてください。

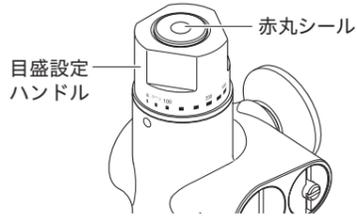


### 4 ステッカーの貼り付け

使用方法ステッカーを見やすい位置に貼り付けてください。

### 給湯用としてご使用の場合

この水栓を給湯用として使用する場合は、同梱の赤丸シールを目盛設定ハンドル上面に貼り付けてください。



5 ページ

## 取り付け後の点検と清掃 1

### 通水確認

【△注意】水栓を取り付け後、通水して湯水の出し止めに5～6回繰り返し、配管接続部および水栓から水漏れがないことを確認してください。確認しないと、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

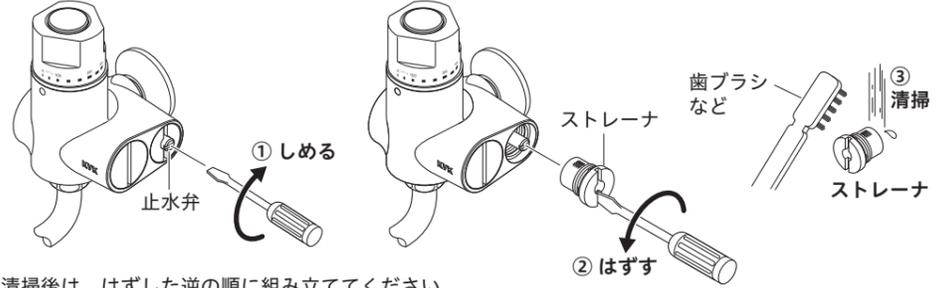
### ストレーナ清掃のお願い

本体と吐水口のストレーナにゴミが詰まると、吐水量が減ったり、希望する湯温にならない場合がありますので、施工後必ず清掃してください。

### 本体のストレーナ

【△警告】・ストレーナの清掃は、止水弁または元栓で必ず湯水を止めてから行ってください。ストレーナをいきなり開けますと高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。  
・高温の湯をご使用の後は水栓本体が熱くなっていますのでやけどに注意してください。

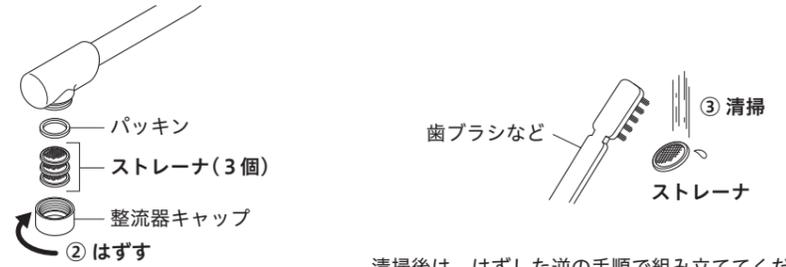
- ① 本体の止水弁[1か所]または元栓をしっかりと締めて、湯水が出ないことを必ず確認してください。
- ② ストレーナ[1個]を取りはずします。
- ③ ゴミ・水アカ等を洗い流します。



清掃後は、はずした逆の順に組み立ててください。  
ストレーナを締め込む時、目盛設定ハンドルを吐水状態にしてください。

### 吐水口のストレーナ

- ① 湯水全開で20～30秒吐水させてください。
- ② 吐水口の整流器キャップをはずす方向にひねって、ストレーナを取りはずします。
- ③ ストレーナをブラシで水洗いします。



清掃後は、はずした逆の手順で組み立ててください。

6 ページ

## 取り付け後の点検と清掃 2

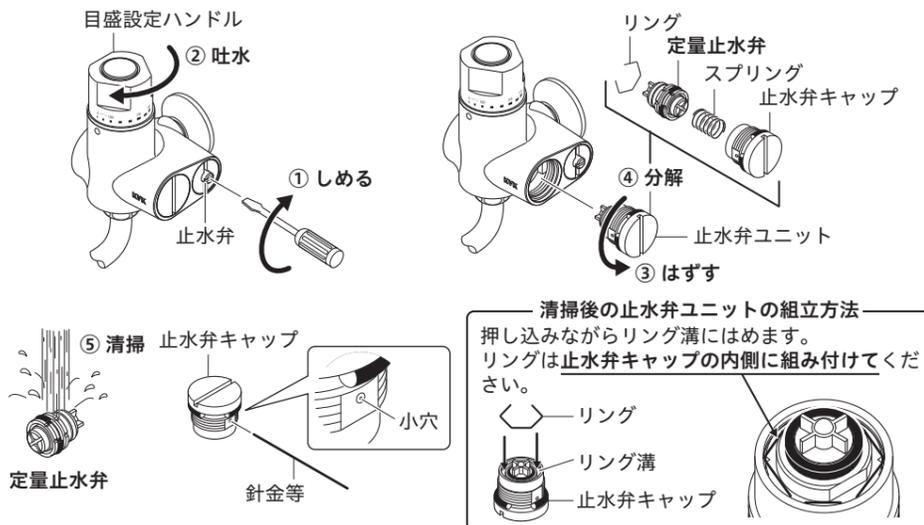
### 定量止水弁の清掃方法

定量止水弁が詰まると、きちんと定量できなくなったり、湯水が止まらなくなりますが、定量止水弁を清掃してください。

【△警告】定量止水弁の清掃は、止水弁または元栓で必ず湯水を止めてから行ってください。定量止水弁をいきなりはずすと、高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

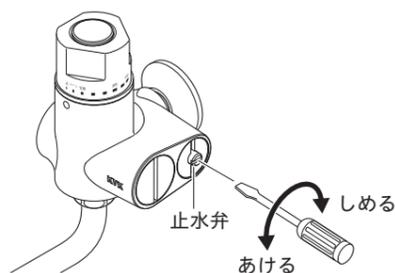
- ① 本体の止水弁(1か所)または元栓をしっかりと締めてください。
- ② 目盛設定ハンドルを吐水状態にします。(この時、湯水が出ないことを必ず確認してください。)
- ③ 止水弁ユニットをマイナスドライバー等で取りはずします。
- ④ 止水弁ユニットからリングをはずして分解します。
- ⑤ キャップの小穴を細い針金等で清掃し、定量止水弁は水洗いします。

清掃後は逆の手順で組み立ててください。  
【△注意】止水弁ユニットは、目盛設定ハンドルを止水状態にしてから締め込み、吐水状態にしたのち、再度確実に締め込んでください。しっかりと締め込んでいないと漏水のおそれがあります。



### 流量の調節方法

流量の調節は右記の方法で行ってください。



7 ページ

## 故障かなと思ったら…

次のような現象は故障ではありません。修理を依頼される前に下記の表に従ってもう一度お確かめください。

現象	お調べいただくところ	処置	参照ページおよび項目
湯水が止まらない	目盛設定ハンドルは止水位置に合っていますか	目盛設定ハンドルを止水位置に合わせる	取扱説明書3ページ「目盛設定ハンドルの使用方法」
定量止水ができない	定量止水弁にゴミ等が詰まっていませんか	定量止水弁を清掃する	7ページ「定量止水弁の清掃方法」
定量止水するまでの時間が長い	定量止水弁にゴミ等が詰まっていませんか	定量止水弁を清掃する	7ページ「定量止水弁の清掃方法」
吐水量が少ない	止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	7ページ「流量の調節方法」
	ストレーナにゴミ等が詰まっていませんか	ストレーナを清掃する	6ページ「ストレーナの清掃方法」
	定量止水弁にゴミ等が詰まっていませんか	定量止水弁を清掃する	7ページ「定量止水弁の清掃方法」
温度調節がうまくできない	ストレーナにゴミ等が詰まっていませんか	ストレーナにぬるま湯をかける	ストレーナを清掃する 6ページ「ストレーナの清掃方法」
吐水が飛び散る	ストレーナにゴミ等が詰まっていませんか	ストレーナを清掃する	6ページ「ストレーナの清掃方法」

[水栓本体内部のメンテナンスをする場合]

【△注意】修理技術者以外の方は水栓本体内部を分解しないでください。故障や水漏れの原因になります。水栓本体内部のメンテナンスは、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご依頼ください。

8 ページ

404597-01